

2025年1月31日

株式会社ナガイ

代表取締役 永家 隆行 様

公益財団法人 地方経済総合研究所

代表理事 笠原 慶久

モニタリング報告書

1. 目的

本検証は、ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書（以下、評価書）に掲げるKPIを対象に、下記検証期間における進捗を確認することを目的としている。なお、評価書は国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び ESG 金融ハイレベル・パネル設置要綱第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り 2023 年 9 月 29 日に発行した。

【検証期間】

2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日

2. 検証の方法

評価書に掲げた KPI について、肥後銀行と連携し実施した担当者へのヒアリングを基に、検証を進めた。なお、進捗の妥当性は、適宜実施するヒアリング等で確認している。

4. 検証結果

ヒアリングを基に、検証結果を以下の評価基準を参考に、次の通りまとめた。

重要課題	取組事項	評価
環境に配慮した 事業活動	飼料米生産に向けた 耕作放棄地活用・作付面積拡大	S
	外部からの残渣受入・受入量	B
	電力使用量の把握 ・CO2 排出量削減	A
	梱包、包装資材の サステナブル素材への切替	C
サステナブルな 養豚事業の実現	サステナブルな養豚事業の継続 ・出荷頭数の増加	A
	サステナブルな養豚事業の継続 ・飼育頭数の増加	S
	衛生管理の徹底 ・HACCP 認証の継続	A
働きがい向上と 次世代の担い手育成	働きがいのある職場づくり ・残業時間 0 の継続	B
	従業員満足度の向上 ・ES アンケートの実施	C
	年次有給休暇の取得推進 ・取得率向上	A
	社員マニュアルの作成	B
	地元雇用、若者積極雇用 ・採用人数	B
	インターンシップ受入・受入人数	B
	業界団体との定期的な 勉強会実施・開催回数	A

※「外部からの残渣受入・受入量」について、社会的なフードロス削減の影響により当初見込みよりも減少している。

以上

【評価基準】

S：目標を大きく上回る A：当初の期待通り B：目標を下回る C：目標を大きく下回る